

人権ライブラリーニュースレター

Human Rights Library JAPAN

Vol.3

2016 (平成28) 年1月発行

(公財) 人権教育啓発推進センター

人権ライブラリーは、法務省委託により(公財)人権教育啓発推進センターが運営しています。

人権啓発資料法務大臣表彰の受賞作品が決まりました！

人権ライブラリーでは、全国の地方公共団体が作成した人権啓発資料を毎年収集していますが、その中から、特に優れた作品を選定し、表彰する「人権啓発資料法務大臣表彰」の受賞作品が次のとおり決まりました。

最優秀賞 <出版物部門>



人権教育教材集 新版 いのち
小学校1～3年生版
小学校4～6年生版
中学校版
(制作者：北九州市)

優秀賞 <新聞広告部門>



「虐待」を告発できる子は、まれです。
(制作者：香川県)

優秀賞 <出版物部門>



発達障がい
ハンドブック
(制作者：鳥取県)

優秀賞 <ポスター部門>



「キモイ」
「消える」
前に自分が書いたこと。
今は自分が書かれてる。
(制作者：愛知県)

優秀賞 <映像作品部門>



あなたに伝えたいこと
(制作者：兵庫県)

受賞理由など詳しくは人権ライブラリーホームページをご覧ください。 <http://www.jinken-library.jp/>

受賞作品を含む応募作品は、法務省と当センターなどが主催する人権シンポジウムの会場等で展示し、その後は、人権ライブラリーで貸出を行いますので、ぜひご活用ください。

人権啓発資料法務大臣表彰は、人権思想の普及高揚を図り、基本的人権の擁護に資することを目的に実施され、地方公共団体が作成した人権に関する啓発資料のうち、特に優れたものを法務大臣が表彰しています。1984 (昭和59) 年に総務庁長官表彰 (当時) としてスタートして以来、30年以上にわたって、全国から人権に関する各種資料を収集し、表彰しています。

今回は、2014 (平成26) 年度に全国の地方公共団体が作成した人権啓発資料から、1,566点の作品の応募がありました。

教材「あなたは大丈夫？—考えよう！インターネットと人権—」＜改訂版＞の公開について

近年、小学生・中学生等の青少年によるインターネットの利用が年々増加している一方、掲示板における誹謗中傷の書き込みや、SNSにおけるいじめ、写真共有アプリによる児童ポルノの投稿等、子どもが加害者や被害者になり、トラブルに巻き込まれる事案が発生しています。

こうした状況を踏まえ、法務省人権擁護局では、高校生とその保護者を対象とした啓発教材として「あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権」＜改訂版＞を企画しました。

この教材は、高校生がインターネットを利用する際に生じる様々な問題を、図表やチェックリストを中心に、人権的視点から分かりやすく解説しています。

本教材は、人権ライブラリーのホームページにおいてPDFデータの形式で無料で公開していますので、学校内での教材や資料作成の参考として、自由にご利用ください。

〔PDFデータの公開URL〕 <http://www.jinken-library.jp/search/news/134130.html>



本教材の構成

- CHECK「インターネットを使うとき、こんなことをしていませんか？」
- フィルタリング、ルール、マナーは、子どもの人権を守ります！
- 困った時には、一人で悩まず、相談しよう！
- 書き込みや写真、動画などの削除依頼について知りましょう
- 「STOP！ネットトラブルの歌」～中学生・高校生編～青森県警察
- ネットは便利だけど…
- 使い方を間違えると大変なことに！
- ネット被害から自分を守るために
- ネットで相手を傷つけないために

人権ライブラリー貸出ランキングのご案内

人権ライブラリーでは、人権に関する図書や映像資料（DVD、VHSビデオテープ）を多数所蔵し、貸出を行っています。図書、映像資料は郵送等による貸出にも対応していますので、遠方の方もご利用いただけます。自己啓発目的のご視聴のほか、研修会や学校授業におけるビデオ上映にも、ぜひご利用ください。

ご利用作品の選定のご参考として、過去一年間にご利用の多かった上位20作品を紹介いたします。

〔集計期間：2014(平成26)年12月～2015(平成27)年11月〕

順位	タイトル	制作者	制作年度	上映時間	順位	タイトル	制作者	制作年度	上映時間
1位	セクハラ パワハラ えせ同和行為 あなたの職場は大丈夫？	法務省人権擁護局 人権教育啓発推進センター	2010	46分	11位	パワーハラスメントにならない指導のポイント どう叱るどう育てる	21世紀職業財団	2012	23分
2位	人権のヒント 職場編 気づきのためのエピソード集	東映	2010	22分		パワハラになる時 ならない時 1 パワーハラスメント4つの判断基準	職場のハラスメント研究所	2012	25分
3位	職場の日常から考えるパワーハラスメント	東映	2012	28分	13位	あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	法務省人権擁護局 人権教育啓発推進センター	2014	30分
4位	人権アーカイブ・シリーズ 同和問題～過去からの証言、未来への提言／同和問題 未来に向けて	法務省人権擁護局 人権教育啓発推進センター	2014	80分	14位	パワーハラスメントを考える 1 パワハラを正しく理解するために	アスパクリエイト	2013	28分
5位	それぞれの立場 それぞれのきもち 職場のダイバーシティと人権	東映	2011	28分	15位	セクハラを生まない職場コミュニケーション対策 1 コミュニケーションに潜むセクハラ危険	アスパクリエイト	2013	25分
6位	パワハラになる時 ならない時 2 事例で考えるパワハラ・グレーゾーン 自己尊重のコミュニケーションと職場の人権 2 相手の立場で考える	職場のハラスメント研究所	2012	26分	16位	同和問題と人権 —あなたはどうか考えますか—	法務省人権擁護局 人権教育啓発推進センター	2008	28分
					17位	パワハラにならない叱り方	アスパクリエイト	2013	27分
8位	わたしたちの声3人の物語 ～「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品をもとに～	法務省人権擁護局 人権教育啓発推進センター	2013	45分	18位	ストップ！セクシュアルハラスメント 職場の仲間は対等なパートナー	21世紀職業財団	2013	26分
					19位	虐待防止シリーズ 児童虐待 高齢者虐待 ドメスティック・バイオレンス	法務省人権擁護局 人権教育啓発推進センター	2012	46分
10位	職場の人権 ～相手のきもちを考える～	東映	2008	27分		21世紀職業財団	2009	20分	
	自己尊重のコミュニケーションと職場の人権 1 ハラスメントの視点から	東映	2013	23分		企業活動に人権的視点を CSRで会社が変わる・社会が変わる	人権教育啓発推進センター	2015	103分

貸出方法のご案内

ステップ1

利用者登録申請書をご記入・ご提出ください。
(初回のみ)

ステップ2

貸出申込書をご記入・ご提出ください。事前に予約状況をお問合せいただくことをお勧めします。登録申請と同時に申し込みできます。

ステップ3

郵送等による貸出をご希望の場合、指定日着の着払でお届けします。
(往復の送料はご負担ください)

ステップ4

期日までに郵送等で当ライブラリー宛にご返却ください。

詳しくは、人権ライブラリーホームページ (<http://www.jinken-library.jp>) をご覧ください。

新着資料のごあんない

人権ライブラリーに最近配架された映像資料を紹介します。いずれも、当ライブラリーで貸出を行っています。

性的マイノリティに関する人権啓発ビデオ

「あなたが あなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権」

企画：法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター
 監修：宝塚大学看護学部教授 日高庸晴 制作：東映株式会社
 (平成26年度法務省委託) 30分・字幕/副音声入り・「活用の手引き」添付

性・セクシュアリティはととても多様です。しかし、それを理解している人はごくわずかでしょう。

そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もが自分らしく生きられる社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。

このビデオは、いま注目を集めている「性的マイノリティ」について人権の視点で理解を深めることを意図して企画されました。「LGBTQ」などの性的マイノリティについての基本的な情報および、典型事例のドラマと現状分析が収録され、入門編として最適です。



「全国中学生人権作文コンテスト」を題材とした人権啓発ビデオ

「未来を拓く5つの扉～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～」

企画：法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター
 制作：株式会社桜映画社
 (平成26年度法務省委託) 46分・字幕/副音声入り・「活用の手引き」添付

法務省が主催している全国中学生人権作文コンテストでは、中学生が身の周りに起きたいろいろな出来事や自分の体験から、人権とはどんなことなのかを考えています。このビデオでは、受賞作の中から5編の作文を俳優の濱田龍臣さんとAKB48の大和田南那さんが朗読し、あわせてアニメーションやイラストでも紹介しています。

中学生が作文の中でつぶやいている言葉にあなたも耳を傾けてください。それが、きっと、人権について考える一歩になっていくでしょう。



この2つのビデオは、インターネットの動画サイト「YouTube」でも無料でご覧いただけます。

[法務省チャンネル](#) [検索](#)

君が僕の息子について教えてくれたこと

自閉症である自らの心情を綴ったエッセイの著者、東田直樹さんと自閉症の子を持つ作家との出会いを描いたドキュメンタリービデオです。
 制作：株式会社NHKエンタープライズ [59分・2014年作品]

新・ケータイ・ネット社会の落とし穴

急速に普及が進むスマートフォンに特化した、小・中学生向けの情報モラル教材です。
 制作：株式会社NHKエンタープライズ [39分・2014年作品・「指導の手引き」添付]

法務省人権イメージキャラクター



人KENまもる君

人KENあゆみちゃん

啓発活動重点目標

みんなで築こう
人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち
 育てよう 思いやりの心～

人権ライブラリーのメールマガジンに登録しませんか？

新着資料、講座のご案内など、最新情報をお知らせするメールマガジンを発行しています。(無料)
 当ライブラリーホームページのトップページ上部の「メルマガ」ボタンをクリックしてください。簡単にご登録いただけます。匿名でのご登録も可能です。

[人権ライブラリー](#) [検索](#)

公益財団法人 人権教育啓発推進センター

人権ライブラリー

〒105-0012
 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F
 TEL.03-5777-1919 FAX.03-5777-1954
 e-mail library@jinken.or.jp
 URL http://www.jinken-library.jp/
 開館時間 9:00～17:00
 (土日、祝日、年末年始は休館)

交通のごあんない

※ご利用の際の利用者用駐車場はありません。



- JR山手線・京浜東北線「浜松町駅」
 東京モレール「モレール浜松町駅」
 (金杉橋口から徒歩7～8分) (北口から徒歩9～10分)
- 都営地下鉄三田線「芝公園駅」(A3出口から徒歩3～4分)
- 都営地下鉄大江戸線・浅草線「大門駅」(A3出口から徒歩4～5分)